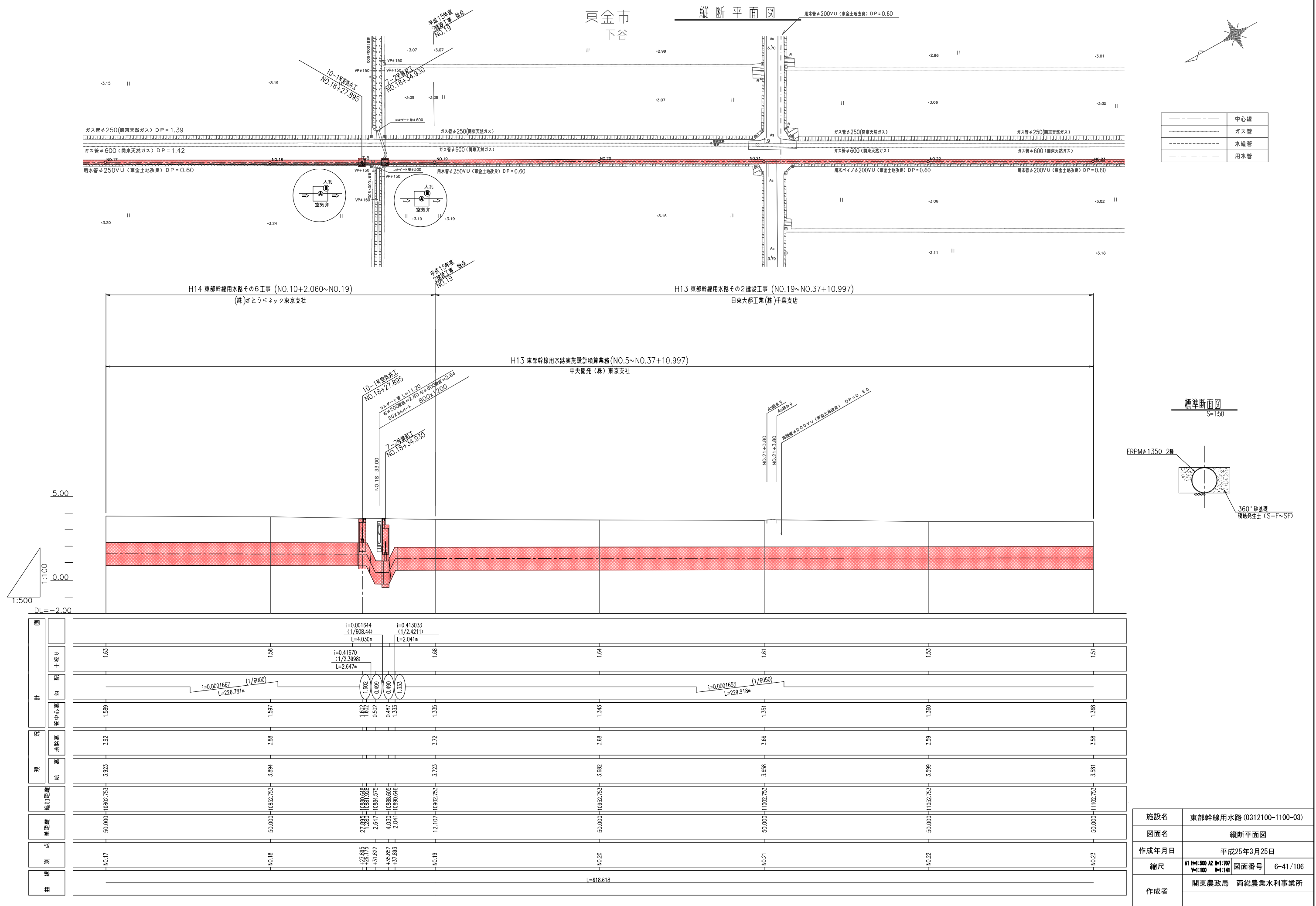
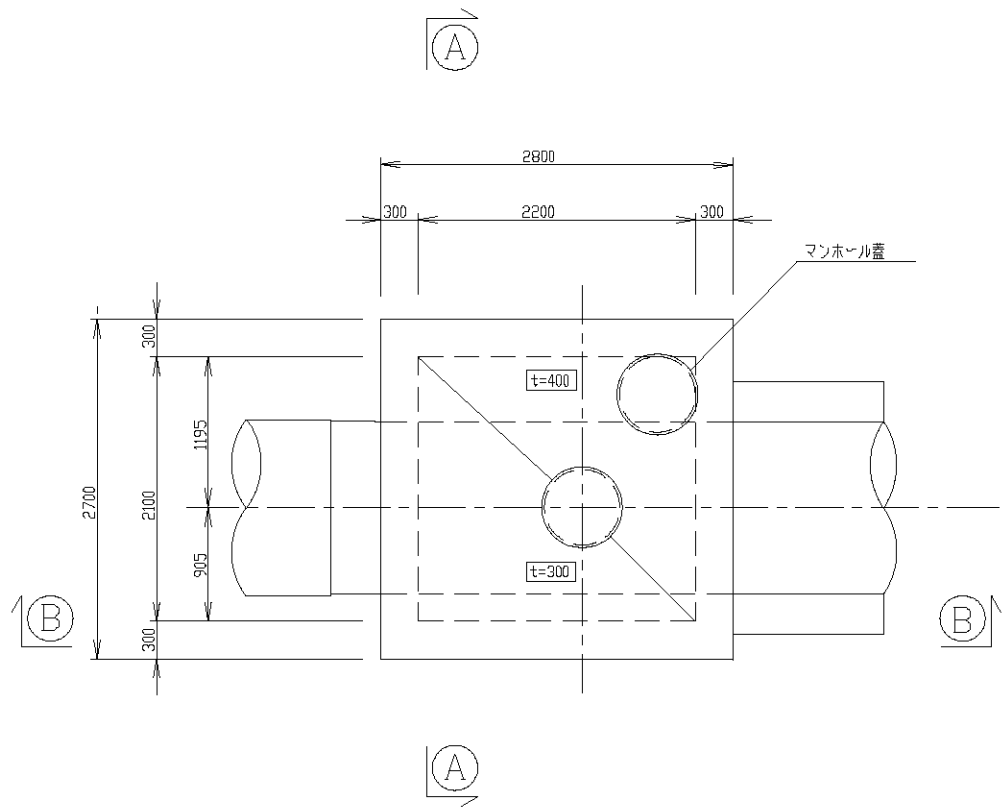


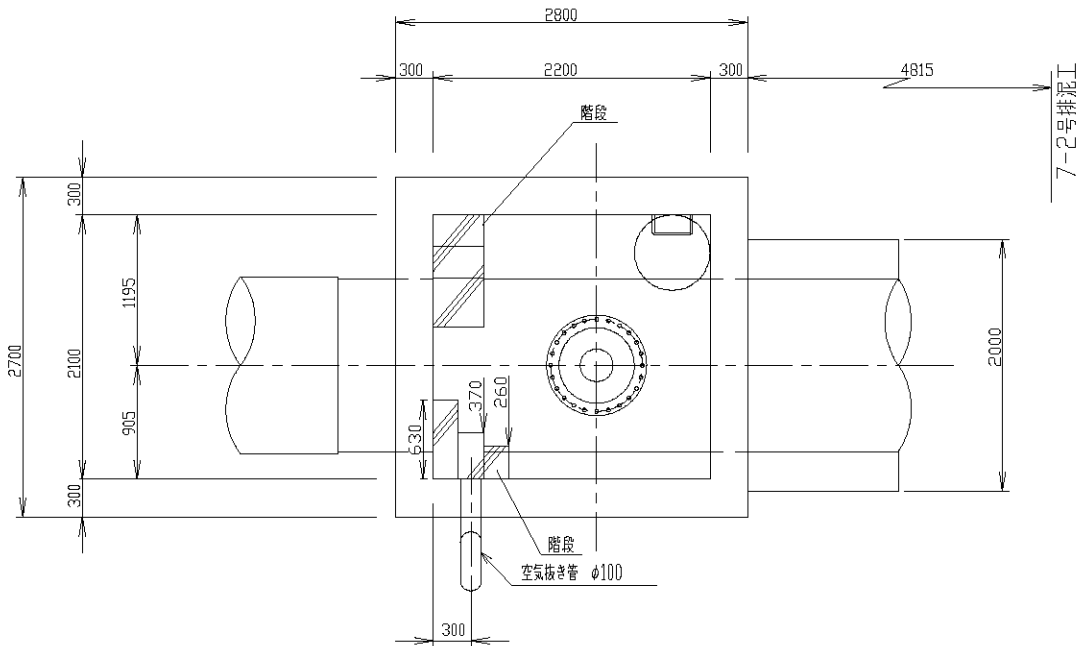


10-1号空気弁室構造図

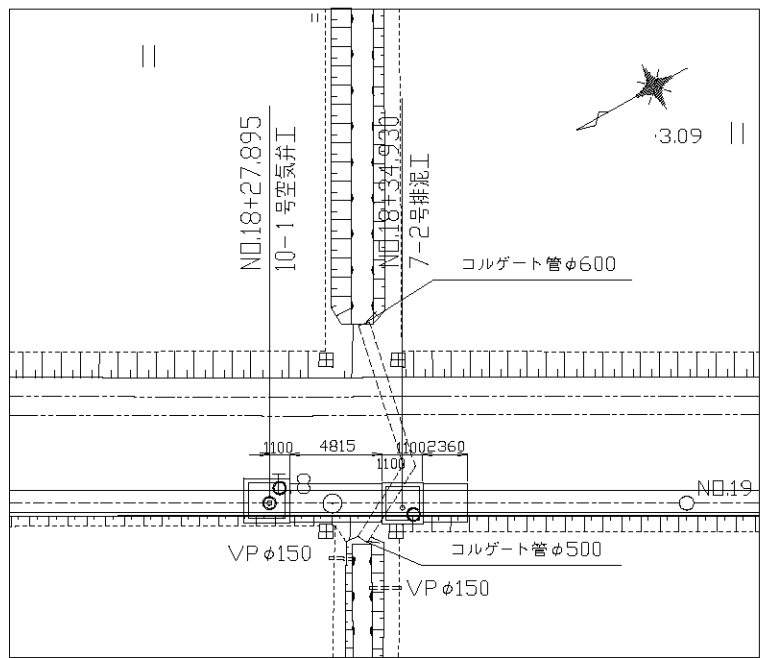
頂版平面図



平面図

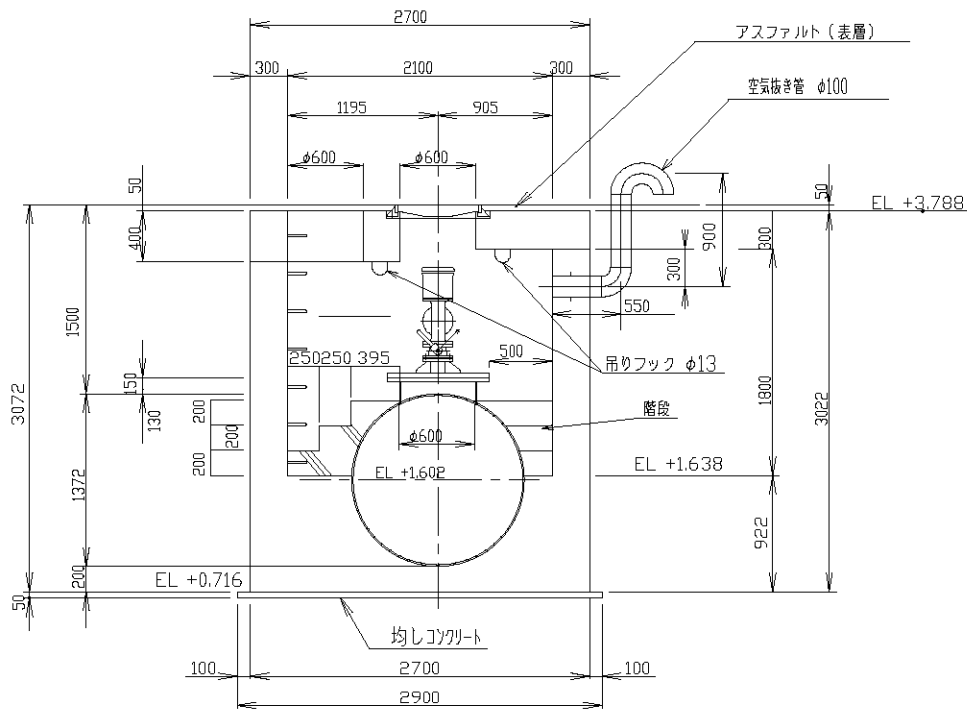


位置図 1:200



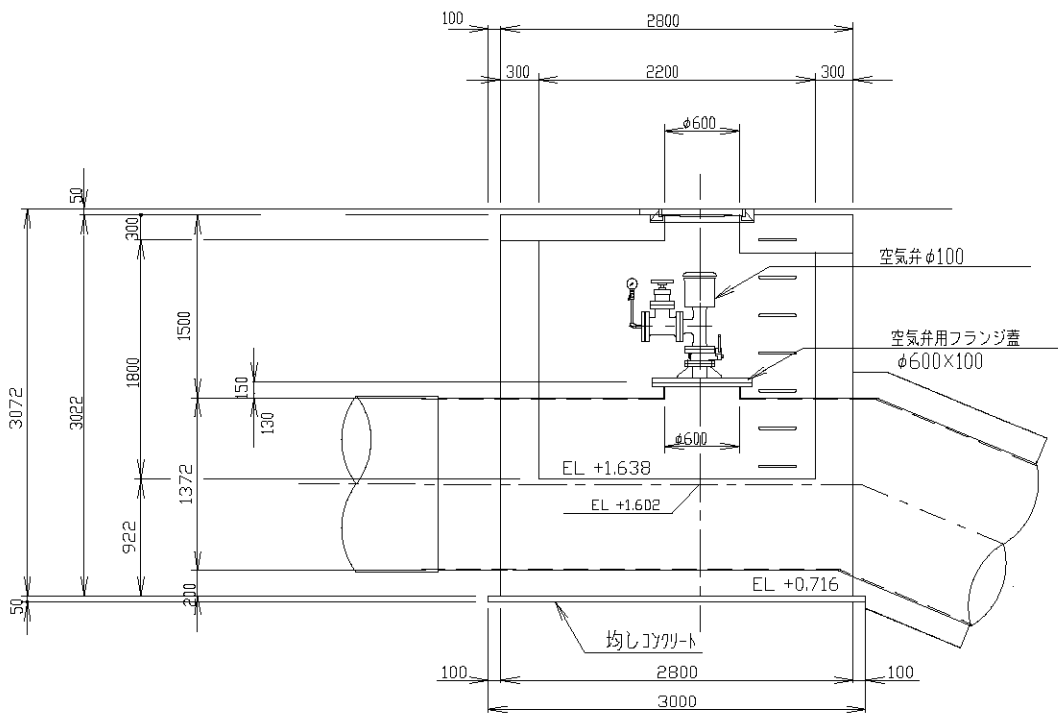
横断面図

A-A断面

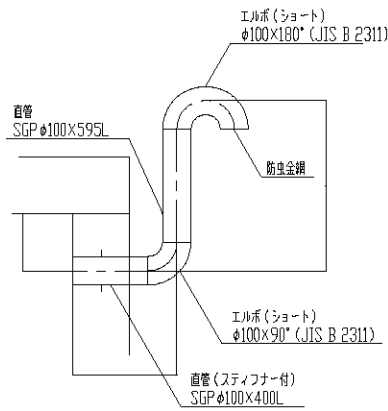


縦断面図

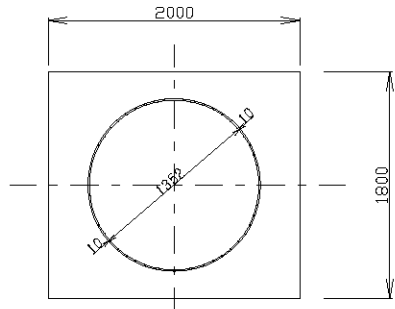
B-B断面



空気抜き詳細図 1:20



スラストブロック 1:30



施設名	東部幹線用水路 (0312100-1100-03)		
図面名	10-1号空気弁工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	8-49/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

空気弁工番号

10-1号空気弁工

路線名						東部幹線用水路		緯度		35 ° 31 ' 17.63 "	
関連事業名								経度		140 ° 22 ' 40.44 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,900 (1,210) 1,010 (580) 2,910 (1,790)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 2.1l m ³ /S	施設容量 2.1l m ³ / S	空気弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.83 1.60		
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位			

概要

※受益面積欄上段の数字は松漏支線を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松漏支線を含まない）の受益面積を表示している。

空気弁工は東金市道4453号線下に設置された地下埋設施設である。道路上に2箇所設置されたマンホールと道路脇の通気管が目印となる。

水路を挟んだ数メートル先には7-2号排泥工施設が設置されている。

平面図

縦断面図

弁室人孔（マンホール）
10-1号空気弁工の空気弁（φ100mm）はこのマンホール下の弁室内に設置されている。
空気弁は東部幹線用水路管内の点検用管理孔を兼ねている。
弁室への進入はこのマンホールから行う。



留意事項

類似構造の空気弁工(空気弁φ100mm) が下流に23ヵ所存在するが、別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。
各空気弁工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。

空気弁工番号

10-1号空気弁工

路線名

東部幹線用水路

緯度

35 ° 31 ' 17.63 "

関連事業名

経度

140 ° 22 ' 40.44 "

説明図

管理施設・配管・模式図

10-1号空気弁工

空弁

M

東部幹線用水路

7-2号排泥工

M

凡 例

空 気 弁

空

マンホール(人孔)

M

【管理人孔について】

10-1号空気弁は、東部幹線用水路の空気弁機能のほか東部幹線用水路の管内点検用の管理用孔（φ600mm）としての機能も兼ねている。

管内へ入る際は以下の手順により行う。

1. 空気弁制水弁を開にして本管内の水位を低下。

2. 1により溜まった空気弁室内の排水は水中ポンプにより弁室外へ排出。

3. 空気弁フレンジ 蓋を取り外す。

管理設備調書一覧表

「空気弁」

路線名	施設名	位置情報		国営受益面積(ha)			国営計画流量(m ³ /s)			施設規模(φ mm)		備考
		緯度	経度	水田	畑	計	水田	畑	計	管路口径	空気弁口径	
東部幹線用水路	10-2号空気弁工	35° 31'09.90"	140° 22'35.77"	1.900 (1.210)	1.010 (580)	2.910 (1.790)	2.11		2.11	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	11号空気弁工	35° 31'05.00"	140° 22'29.05"	1.900 (1.210)	1.010 (580)	2.910 (1.790)	2.11		2.11	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	35号空気弁工	35° 30'37.43"	140° 22'16.14"	1.900 (1.210)	1.010 (580)	2.910 (1.790)	2.11		2.11	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	36号空気弁工	35° 30'25.74"	140° 22'10.96"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	37号空気弁工	35° 30'16.58"	140° 22'06.78"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	37-1号空気弁工	35° 30'15.93"	140° 22'06.69"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	38号空気弁工	35° 30'07.01"	140° 22'04.41"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	41号空気弁工	35° 29'41.40"	140° 21'54.59"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	41-1号空気弁工	35° 29'32.35"	140° 21'39.87"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	42号空気弁工	35° 29'24.65"	140° 21'39.04"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	43号空気弁工	35° 29'11.94"	140° 21'34.29"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	44号空気弁工	35° 28'50.68"	140° 21'27.48"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	50号空気弁工	35° 28'05.28"	140° 21'14.63"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	50-1号空気弁工	35° 27'53.92"	140° 21'13.03"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	51号空気弁工	35° 27'47.77"	140° 21'10.04"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	52号空気弁工	35° 27'32.88"	140° 21'01.03"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	53号空気弁工	35° 27'19.74"	140° 20'48.25"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	54号空気弁工	35° 27'00.81"	140° 20'49.73"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	55号空気弁工	35° 26'45.83"	140° 20'46.03"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1000mm	φ 100mm	マンホール
	56号空気弁工	35° 26'24.96"	140° 20'47.02"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール
	57号空気弁工	35° 26'09.61"	140° 20'46.98"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール
	58号空気弁工	35° 25'53.79"	140° 20'48.16"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール
	59号空気弁工	35° 25'47.32"	140° 20'47.32"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画上、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



10-2号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



11号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



35号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



36号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



37号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



37-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



38号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



41号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



41-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



42号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



43号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



44号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



50号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



50-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



51号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



52号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



53号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)

工事中

54号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



55号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



56号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



57号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



58号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



59号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)

